

# 津山市男女共同参画市民アンケート調査

津山市では、「第3次つやま男女共同参画さんさんプラン」に基づき、性別にかかわらず、自らの意思と価値観により、家庭、職場、学校、地域など社会のあらゆる分野で個性と能力を十分に発揮することができる「男女がともにさんさんと輝けるまち つやま」の実現に向けて取り組んでいます。

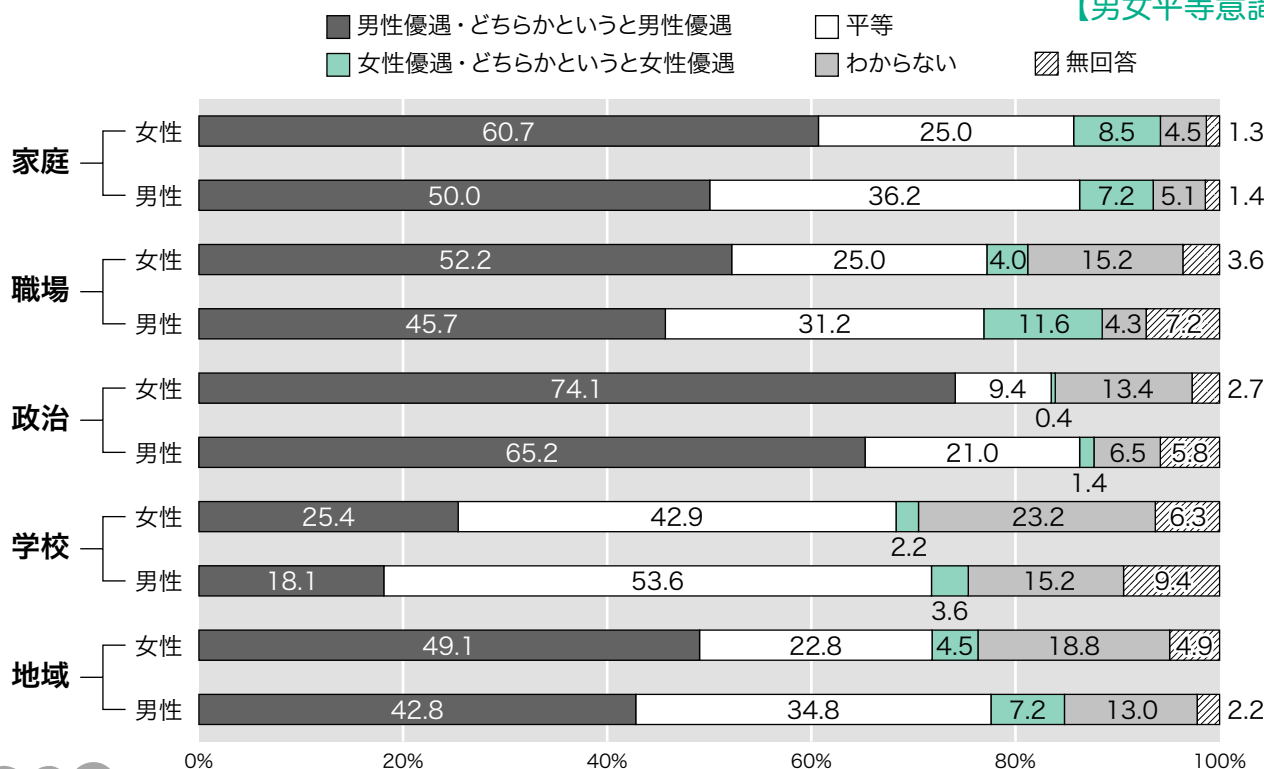
この調査は、市民の皆さんに男女共同参画に対するお考えやご意見を伺い、今後の施策を検討するうえでの基礎的な資料とするために実施しました。

▶ **調査の概要** 津山市内在住の18歳以上の男女各1,000人 計2,000人を対象に、平成28年8月に実施  
有効回収数 591人(女性224人 男性138人 性別無回答229人) 回収率 29.6%

※単回答の答えの割合の数値をすべて足しても「100.0」にならないことがあります。

## ● 家庭・職場・政治・学校・地域において、男女が平等になっていますか？

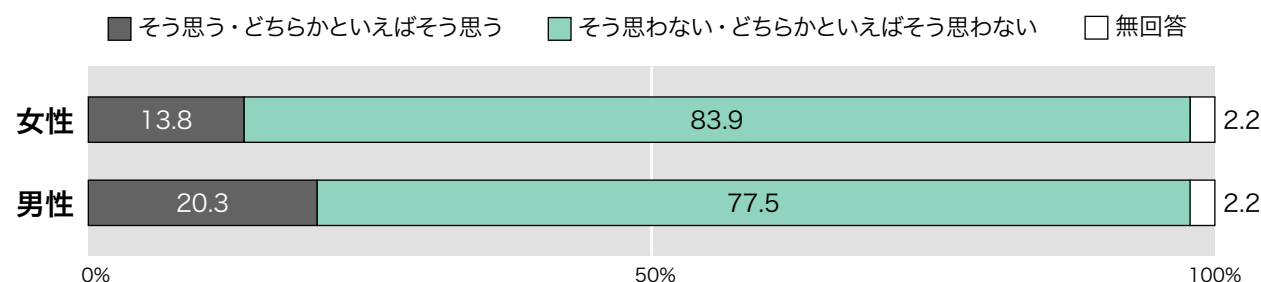
【男女平等意識】



「学校」では「平等」が最も多くなっていますが、その他の分野では「男性優遇」と思っている人が4割から7割を占めています。

## ● 男性は外で働き、女性は家庭を守るべきだと思いますか？

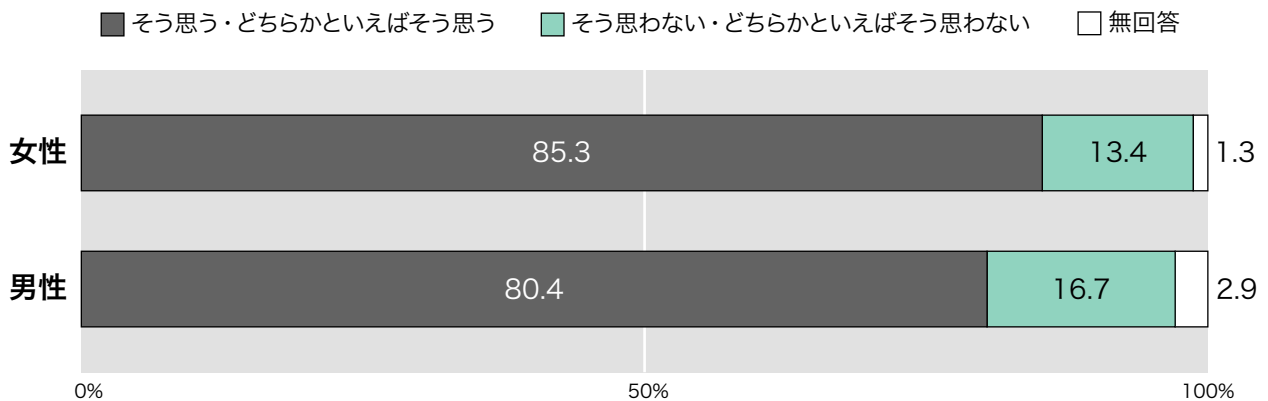
【性別役割分担意識】



女性の83.9%、男性の77.5%の人が「そう思わない・どちらかといえばそう思わない」と考えており、「男性は仕事、女性は家庭」といった性別役割分担の考え方に反対しています。

## ● 男性も家事や子育てなどの家庭の責任を分担するべきだと思いますか？

【性別役割分担意識】

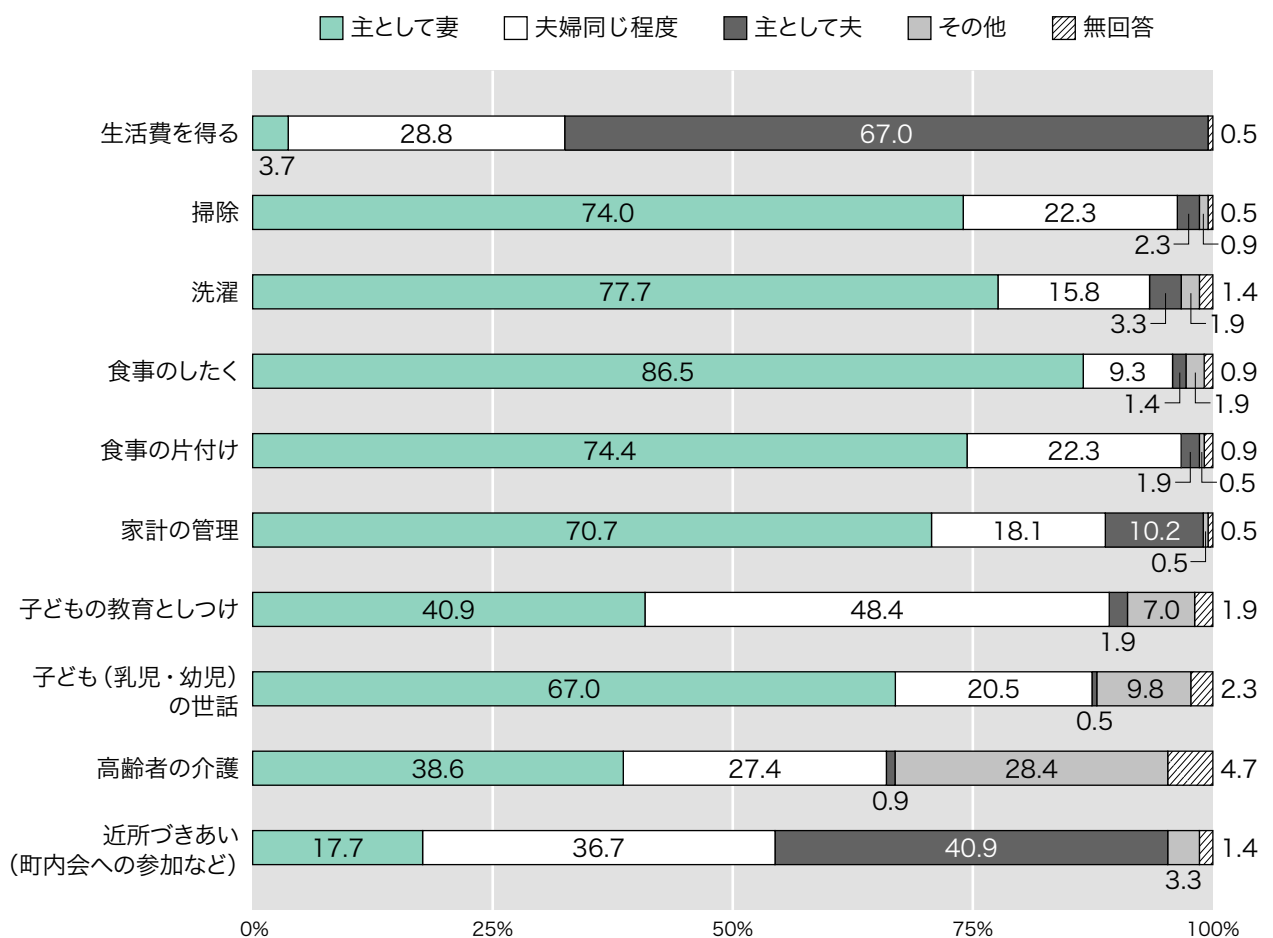


「男性も家庭の責任を分担するべきだ」と思う人は、男女ともに8割を超えています。

## ● 家事や子育てなど、主に夫婦どちらが担当していますか？

(就労形態が「共働きである」と回答された方の状況です)

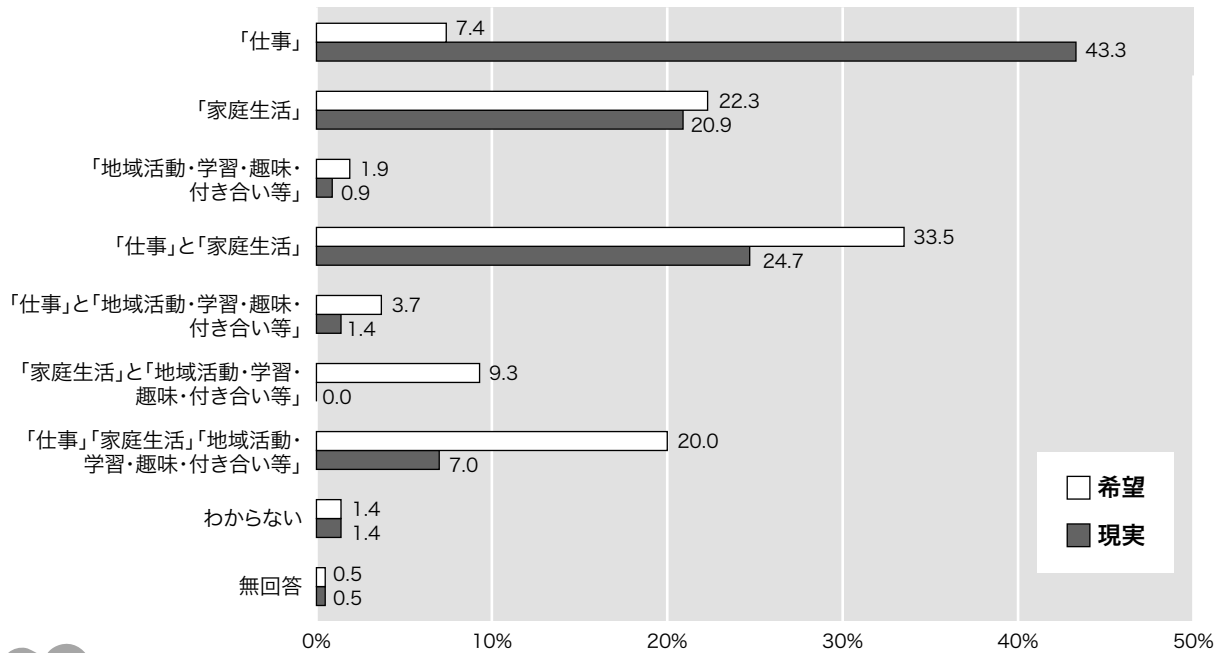
【家庭における役割の現状】



共働き世帯であっても、「掃除」「洗濯」「食事のしたく」「食事の片付け」「家計の管理」「子どもの世話」といった家事や育児は「主として妻」が担っている現状がみられます。家庭における性別役割分担意識は薄れてきているものの、現実には家庭のことは女性が担うといった従来からの性別役割分業は変わっていない実態が伺えます。

● 生活の中での「仕事」「家庭生活」「地域活動・学習・趣味・付き合い等」の優先度の「希望」と「現実」（就労形態が「共働きである」と回答された方の状況です）

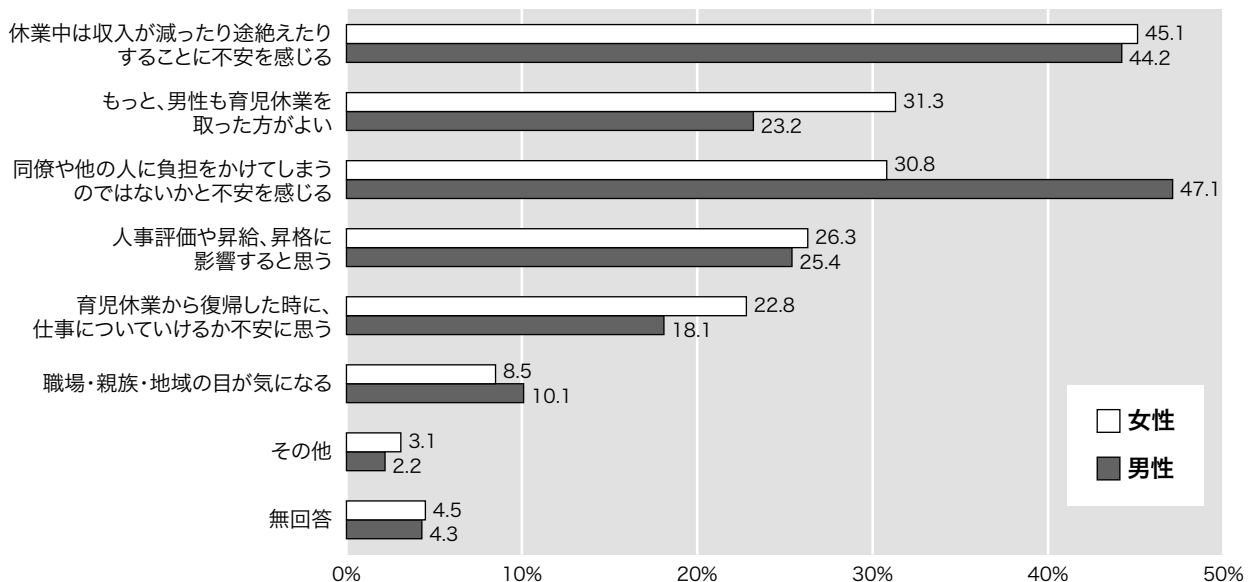
【仕事と生活の調和】



共働きの人は、希望では「仕事と家庭生活をともに優先したい」の割合が高く、「仕事を優先したい」の割合は低くなっていますが、現実では「仕事を優先している」の割合が高くなっています。

● 男性が育児休業を取ることにどのように感じられますか？（回答は2つ以内）

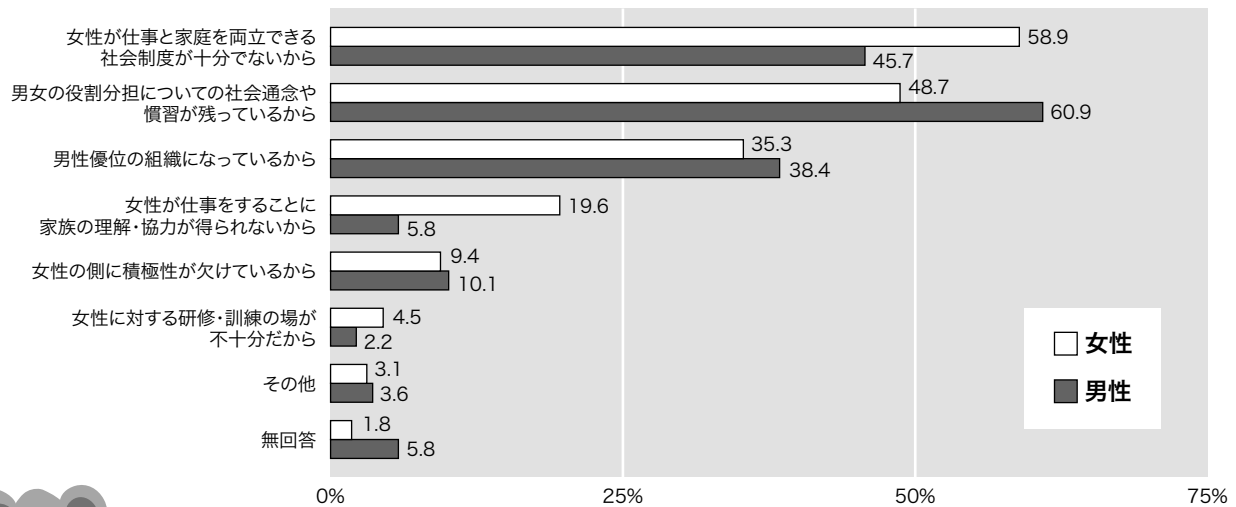
【男性の家事・育児への参加について】



男女ともに「休業中は収入が減ったり途絶えたりすることに不安を感じる」が4割を超えています。「もっと、男性も育児休業を取った方がよい」という考えは、女性では31.3%と2番目に多い一方、男性では23.2%で4番目になっています。男性で1番多いのは、「同僚や他の人に負担をかけてしまうのではないかと不安を感じる」で、47.1%と非常に高くなっています。女性が「もっと、男性も育児休業を取った方がよい」と考えていても、現状では、男性が育児休業を取るための環境が整っていないようです。

● **職場において企画や方針決定の場に女性が少ないという現状が多くみられますが、その理由はどこにあると思いますか？（回答は2つ以内）**

【政策・方針決定過程への女性の参画】

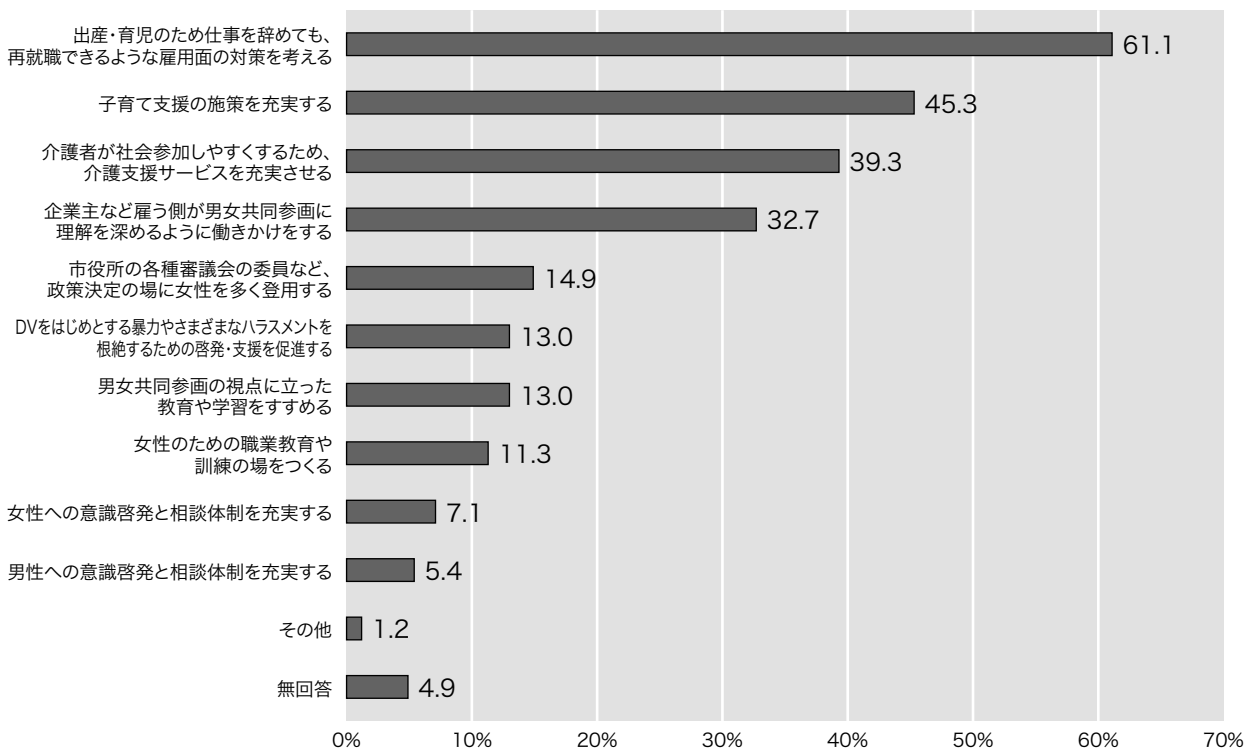


女性では「女性が仕事と家庭を両立できる社会制度が十分でないから」の回答が多く、男性では「男女の役割分担についての社会通念や慣習が残っているから」の回答が多くなっています。

**今後の課題や希望**

● **男女共同参画社会の実現に向けて、津山市は、今後どのようなことに力をいれていけばよいと思いますか？（回答は3つ以内）**

【行政の役割】



発行／津山市総務部人権啓発課 〒708-8520 岡山県津山市新魚町17 アルネ・津山5階  
津山男女共同参画センター「さん・さん」 ☎(0868) 31-2533  
調査協力／(株)ジャパンインターナショナル総合研究所